



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

擁壁と防護柵を
つくります

地元の声

- ・がけ崩れから避難所に指定されている阿能川会館を守っていただきたい。(地元住民)
- ・急勾配の山があるため、大雨が降ったりすると非常に心配。(地元住民)

事業前

◆斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆擁壁と防護柵をつくることにより、落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ (一例)

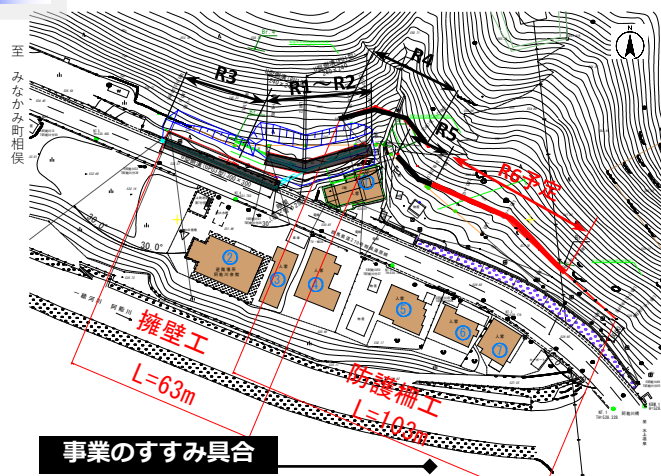
事業の概要

- 事業箇所：みなかみ町阿能川
- 事業内容：擁壁工 延長63m
防護柵工 延長103m
- 事業期間：平成30年度～



事業位置
みなかみ町

事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



今、何をしているか

令和6年度は、防護柵の工事を実施します。



工事箇所状況

事業完了